

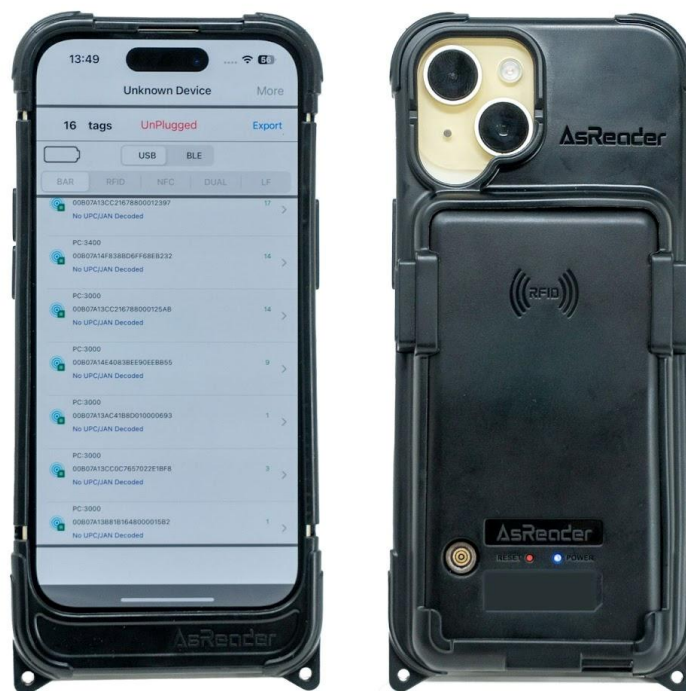


2025年9月1日

各位

会社名 株式会社 アスタリスク  
代表者名 代表取締役執行役員社長 鈴木規之  
(コード番号:6522 東証グロース)  
問合せ先 取締役執行役員管理統括室長 山本和矢  
(TEL. 050-5838-7864)

## 【アスタリスク】RFIDリーダー「ASR-M30S」の発売開始 ～新サービス「FIND AsCode」も同時リリース～



当社は、このたび、スマートフォンに装着して使用するカバーケース型UHF帯RFIDリーダー「ASR-M30S」を2025年10月より発売開始することを発表いたします。同時に、同リーダーと専用アプリを用いて、破損したRFIDタグを効率的に発見する新しいソリューション「FIND AsCode(ファインドアズコード)」の提供を開始します。

### ■「ASR-M30S」の概要・特長

「ASR-M30S」は、当社の製品導入事例でご紹介しているトヨタ自動車株式会社様の生産工場における完成車物流をはじめ、高い信頼性が要求される現場で採用実績がある当社の従来モデル「ASR-030D」の後継機種です。今回、現場の声を反映した大幅な設計革新により以下の特徴を実現しました。



- ・バッテリーレス設計による軽量・薄型化

スマートフォンの充電を利用するためリーダー本体のバッテリーが不要となり、従来モデルよりも軽量かつ薄型の携帯性を実現。現場における作業の負担を軽減します。

- ・読み取り性能の飛躍的向上

従来モデルと比べ、約2倍の距離からの読み取りが可能となり、作業効率の大幅な向上が期待できます。

- ・最新規格への対応

最新のRFID規格「Impinj Gen2x」にも対応し、より高度なタグ情報の読み書きが可能です。

製品名: UHF帯RFIDリーダー「ASR-M30S」

発売開始日: 2025年10月予定

価格: オープンプライス

対応機種: iPhoneおよび、Androidの主要スマートフォン(USB-Cタイプのモデル)



## ■新サービス「FIND AsCode」提供の背景と概要

RFID運用において、物理的な衝撃や圧迫によりタグが破損してしまうことが課題となっており、アパレル業界では出荷時の箱詰め工程において、製造業界では生産ラインにおいてタグが破損することがあり、その発見にはこれまで、多大な時間と労力を要していました。

この課題を解決するため、当社は独自の超高速読み取り二次元コード技術「AsCode」を、国際標準であるRFIDの識別コード「SGTIN (シリアライズドGTIN)」と紐付ける新たな技術を開発しました。

「FIND AsCode」ソリューションでは、RFIDリーダーで正常なタグを読み取る一方、破損していると疑われるタグが付いている物品については、スマートフォンのカメラで「AsCode」を読み取ることで、その物品を特定することができます。これにより、混在する物品の中から破損したタグを素早く見つけ出すことで、運用上の影響を最小限に抑えることが可能となります。

当社は自社内においてもRFIDを活用した商品管理を実施し、現場の生の声を把握して製品開発に反映してまいりました。本技術に関連する核心部分については、特許出願中です。

当社は今後、国内市場に向けて本製品・サービスの提供を開始し、さらには、アメリカやヨーロッパなどへのグローバル展開も視野に入れております。RFIDの導入効果を妨げる課題を解決し、お客様のサプライチェーン全体の更なる効率化と高度化に貢献してまいります。

「ASR-M30S」については、当社ホームページに掲載しております。

「ASR-M30S」紹介ページ:

[https://asreader.jp/wp-content/uploads/2025/07/ASR\\_M30S\\_A4\\_2P.pdf](https://asreader.jp/wp-content/uploads/2025/07/ASR_M30S_A4_2P.pdf)

以上